

depuis が表す時間的關係

曾 我 祐 典

0. はじめに

本論考は、事態 **E** (événement) とその状況 **C** (circonstance) の關係を表す **depuis** のはたらきを解明する作業の一環であり、**E** に **depuis C** を後置する〈**E depuis C**〉をおもな考察対象とする。ただし、**Maman a crié «A table!» depuis la cuisine.** のように空間的關係を表す場合はあつかわない。また、**E** が現在の事態の場合に話をかぎる⁽¹⁾。

depuis を用いて発話を構成する際に発話者がおこなう操作を記述する **Franckel (1989)** は、いくつかの場合について「**E** の **C** における不在」を認める。しかし、筆者にとっては、**C** は **E** が持続・展開する状況であり、**E** は **C** に位置づけられるものである（つまり、**depuis C** は主節 **E** の状況補語である）。一方、**E** の動詞時制と **depuis C** の共起關係の解明をめざす古石 (1984) は、**C** を時点（時間的位置）または時間量であるとしている (p.2)。これは、多くの辞書や文法書にも見られる、語源 (**de + puis**) を踏まえた記述だが、**depuis** のはたらきの根幹を探る筆者は、**C** は時点と時間量をいわば統合する「期間」であると考え、**C** は、はじめの時点 **C1** から **To** までの期間 **C1-To** であることになる。

以下では、まず発話者がどのような内容の **C** をどのような表現によって示

(1) 発話者には発話時点 **To** を中心とする広がりである現在にいるという意識があり、**E** を現在の事態ととらえている。「現在の事態」には **PR** で表すものと **PC** で表すものがあるが、両者のちがいについては、2 で述べる。

すかを見る (1)。そして、**depuis** のはたらきに関する仮説を提案し、肯定文と否定文に分けてさまざまな事態のタイプの **E** についてその仮説が妥当であることを確かめる (2, 3)。そして、残された問題がいくつかあることを指摘する (4)。

1. 状況 **C** の示しかた

C を示すために、発話者は **C** の始点 **C1** または時間量 **Cq** を表すことも、**C1** において実現した事態 **E_{C1}** または期間 **C1-To** にわたる事態 **E_{C1-To}** を表すこともある。

1.1. 時点 **C1** または時間量 **Cq**

C1 を表す場合、発話者は名詞句・副詞句を用いる。それらは **A** と **B** に大別できる。

- A. 日付や時間区分などの表現 : *le 2 octobre, janvier, le début du mois, la semaine dernière, avant-hier, hier, etc.*
- B. 先行文脈の要素に照応する表現 : *ce jour, l'époque en question, lors, etc.*

相手は、**depuis C1** によって **C** の期間が **C1-To** だと解釈する。また、原則として、**C** の時間量 **Cq** を計算することができる。

発話者が **Cq** を表す場合は、名詞句 (*dix jours, quelques mois, bien des années, une éternité, etc.*) または副詞句 (*peu, longtemps, toujours, etc.*) を用いる。相手は、**To** から **Cq** だけ時間の流れをさかのぼった時点が **C1** であることから、**C** の期間が **C1-To** だと解釈することになる。

大事なのは **C** という期間であり、**C1** と **Cq** のどちらかが与えられれば期間の時間的位置と時間幅が明確になるしくみである。この見かたは、(1) のように **C1** の表現と **Cq** の表現を重ねることがあるという事実や (2), (3) のように **C1** または **Cq** をたずねる質問に **Cq** または **C1** の表現で答えることがあ

るという事実によっても支持される⁽²⁾。

- (1) L'inspecteur y travaille depuis le 2 octobre, c'est-à-dire depuis quinze jours.
- (2) Depuis quand un hareng a des écailles ? – Depuis longtemps, madame. (Reza, 37)
- (3) Depuis combien de temps tu t'en occupes ? – Depuis mardi dernier.

1.2. C1 において実現した事態 E_{C1} または C にわたる事態 E_{C1-To}

発話者が C1 において実現した事態 E_{C1} を表す場合、相手は C1 から To までの期間が C だと解釈する。 E_{C1} がどの時点の事態であるかが分かれば、相手は時間量 Cq を計算することができる。 E_{C1} の表現は名詞句または que 節である。名詞句の核になるのは、多くは短時間で実現する事態を表す名詞 (apparition, arrivée, départ, rencontre, retour, sortie, etc.) や人生の出来事・段階を表す名詞 (divorce, mort, naissance, adolescence, enfance, jeunesse, lyc e, etc.) などである。

発話者が To までつづく事態 E_{C1-To} を表す場合、相手は E_{C1-To} を主節の事態 E に並行する事態ととらえ、 E_{C1-To} の始点 C1 から To までの期間が C だと解釈する。C1 がどの時点であるかが分かれば、 Cq を計算することができる。 E_{C1-To} の表現は名詞句または que 節である。名詞句の核になるのは、原則として持続的な事態を表す名詞 (crise, guerre, maladie, s jour, etc.) である。

(2) 出典を示していない発話例は、インフォーマントの協力を得てわれわれが作成したものである。インフォーマントは Olivier Birmann 氏 (元関西学院大学) と Jean-Paul Honor e 氏 (元 Universit  Paris-Est) で、多くの有益な示唆を得ることができた。また、本稿の執筆段階での井元秀剛氏 (大阪大学)、高橋克欣氏 (大阪大学) との意見交換からも学ぶことが多かった。なお、(24) ほかの出典表示に IMP または PQP とあるのは、原文の時制が半過去形または大過去形であったのをそれぞれ PR, PC に変えたことを示す。

2. 事態 E と状況 C の時間的關係：肯定文

ここでは、E と C のあいだの時間的關係を、さまざまなタイプの事態について検討しよう。事態のタイプの弁別特徴とされることが多いのは、持続的か否か（±*duratif*）と実現（完了）が変化をもたらすか否か（±*transitionnel*）である。肯定文の〈E depuis C〉のさまざまな発話について C の期間 C1-To に対する E のありかたを観察すると、5つの事態のタイプ（状態、安定的活動、反復、結果状態、完結的活動）が認められる⁽³⁾、どのタイプの事態も持続的（+*duratif*）である。

本稿であつかうのは現在の事態であるが、To におけるありかた（PR と PC の使い分けを左右するありかた）によって2つに大別できる⁽⁴⁾。ひとつは、発話者がまず「いま持続中・展開中、現状、To にある」ととらえ、次にどの期間のことかを問題にする事態で、(4) のように PR で表す。

(4) *J'aime le jazz depuis que je suis adolescent.*

もうひとつは、発話者が「To まで」または「To 以前」に実現（完了）しているととらえ、どの期間のことかを問題にする事態で、(4) のように PC で表す。

(4') *J'ai toujours aimé le jazz depuis que je suis adolescent.*

状態タイプ、安定的活動タイプ、反復タイプの事態は、PR または PC で表す。一方、結果状態タイプ、完結的活動タイプの事態は、PC のみで表す。

2.1. E:PR または PC で表す事態

ここでは、E が状態タイプ、安定的活動タイプ、反復タイプの事態である

-
- (3) 事態の持続・展開のありかたをとらえる際は、事態が含む事行だけでなく、事行の主体や対象その他すべての事態構成要素を考慮に入れる必要がある。
- (4) E を表す動詞時制は PR と PC 以外に条件法現在形・過去形（ex. *Ils auraient dû se séparer depuis longtemps.* (Reza, 110)）などがあるが、本稿ではあつかわない。

〈E depuis C〉を検討しよう。それらには、PC を用いる動機が共通している。

2.1.1. 状態タイプ

上で見た (4') の場合、発話者は「一貫してジャズ好きである」という状態 E の To までの持続をとらえる。客観的には E が To より後もつづきうるが、発話者はそれには無関心である。To までの持続を総括的にとらえて⁽⁵⁾、それを PC で表すのである。

(5)-(8) の E も状態タイプの事態である。

(5) Elle est inscrite à ce cours depuis le début de l'année.

(6) Ils habitent ici depuis plus de dix ans maintenant.

(7) La situation a été difficile depuis la mi-mars.

(8) Elles se sont toujours détestées depuis qu'elles sont toutes petites.

(5)、(6) の E は現状で、それぞれ C1 から同じありかたで持続してきている。PC の (7) の場合、発話者は「情勢が困難である」という状態 E について、To までの持続をとらえ、「三月半ば」という C1 からであることを表している。(8) も同様である。

〈E depuis C〉の発話者は、現在の事態である E を PR または PC で表し、「どの期間にわたるか」を depuis C で言い添えるわけである。このことは、図 1 のように示せるだろう。



図 1

図 1 に示すように、(5)-(8) の発話者は E を C1 から To までの期間にわたる事態をとらえている。ここで、depuis のはたらきについて (9) のような仮説を提案しよう。

(5) 「20 日で締める」という会計処理に似た、「(一旦) To で締める操作」である。

(9) depuis のはたらきに関する仮説

発話者は、発話時点 T_0 の事態 E が状況 C の期間にわたることを〈 E depuis C 〉で表す。

2.1.2. 安定的活動タイプ

安定的活動タイプの事態は、一定のありかたで展開する活動である。(10)-(13)はその例である。

- (10) Lili fait sa sieste depuis une heure. (Foenkinos 2019, 182)
- (11) L'enfant se conduit mieux depuis le retour de sa tante.
- (12) Nous avons lutté tous les deux depuis ce matin. (Sten, 40)
- (13) Elle a bataillé depuis toujours pour vivre. (T.L.F. «depuis»)

(10), (11) の E は T_0 にある活動で、それぞれ C_1 から安定した展開をつづけてきている。古石は、(12), (13) を示し、 PC は「事行を点的なまとまりの相の下に提示する」のだから *depuis* との共起が不自然なはずだが、*lutter* と *batailler* が「特定の期間を特徴付けるに足るほどの意味の強さをもっているせいで」容認されると述べている (p.13)。しかし、*Ils ont lutté [ont bataillé] pendant trois ans.* のように、持続的な事態を総括的にとらえて PC で表すことはごく普通に見られ、 PC と *depuis C* の共起は珍しくない。(12), (13) の発話者にとって、「二人して闘う」、「彼女が生きるために闘争する」という E は、 C_1 から T_0 まで安定した展開をしてきた活動である。 PC で表すのは、 T_0 までの展開を総括的にとらえていることを示すためである。

(10)-(13) の発話者は、 E の展開が C_1 から T_0 までの期間にわたっているととらえて *depuis* で表している。すなわち、(9) の仮説が妥当し、図示すれば図 1 のようになる。

2.1.3. 反復タイプ

(14)-(18) の E は反復タイプの事態である。それらは、見かたによっては C にわたらない (C_1 から T_0 までのすべての時点に位置づけられるわけでは

ない) ように見える。

(14) Je le vois beaucoup plus souvent depuis que sa femme est partie.
(L'Huillier, 3)

(15) Je viens dans cette maison depuis que je suis enfant, j'ai pris des milliers de repas dans cette cuisine. (Gavalda, 51)

(16) Elle s'est parfois posé la question depuis qu'elle est en chômage.

(17) Elle a assisté au cours hebdomadaire de son mari depuis cinq ans.

(18) Paul l'a vue moins régulièrement depuis cet accident.

PR の (14), (15) の発話者は、E を現在の事態ととらえている。一方、PC の (16) の発話者は、「彼女がときおり自問する」という E について、To までの展開を問題にしている。(17), (18) の E も同じである。

反復タイプの事態は、たとえば次のような見かたをすれば、C1 から To までのすべての時点に位置づけられるわけではなく、したがって、C にわたるのではないことになる。

- ・ (14) と (16)-(18) の E は、「彼の妻が出ていった時点」、「失業状態の最初の時点」などの C1 において始まったとも、厳密に To まで展開してきているとも言えない。
- ・ (14)-(18) の E は、実現の個々の回を問題にすれば、ある回と次の回のあいだに空白があることになる。

このような見かたをして事態の実現の個々の回を $e_1 \sim e_n$ で示せば、たとえば図 2 のようになるだろう。

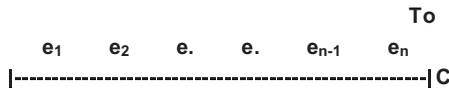


図 2

しかし、発話者のとらえかたはこれとはことなると考えられる。実際、(一般に反復的・習慣的事態にあてはまることだが) 発話者の関心事は「実現の

個々の回」ではなく、それらの総体である。その総体を大きなひとつの事態ととらえ、それが C1 から To までの期間にわたるととらえるのである。すなわち、発話者は E と C のあいだの時間的關係を図 1 のように思い描いている。そして、E という大きな事態が C にわたることを depuis で表している。(9) の仮説が妥当することになる。

2.2. E:PC のみで表す事態

こんどは、E が結果状態タイプ、完結的活動タイプの事態である〈E depuis C〉を検討しよう。どちらのタイプの事態も PC のみで表すが、PC を用いる動機は同じではない。それらの動機は、2.1. で見た 3 つのタイプの事態を PC で表す動機ともことなる。

2.2.1. 結果状態タイプ

結果状態タイプの事態は、(19)-(22) の E のような、ある事態が実現（完了）した結果うまれた状態である。いわゆる「現在完了」であり、発話者は PC で表す。結果状態は「To において持続中」であり、その点では 2.1.1. で見た状態タイプの事態と変わらない。

(19) *Moi, ce travail, je l'ai fini depuis longtemps.* (Franckel 1989, 192)

(20) *J'ai fini de travailler depuis une heure.* (Ib, 197)

(21) *J'ai cessé de le voir depuis longtemps.* (Ib, 199)

(22) *Il a arrêté de fumer depuis plus d'un an.* (L'Huillier 1999, 3)

(19) の「自分がその仕事を終えている」という E は、ある出来事が実現した結果として C1 においてうまれた状態である。(20) の E について、Franckel は finir をアスペクト・マーカーととらえ、C を「はたらく」という行為が時間的に不在 (correspondant à l'extérieur temporel de P) である期間としている⁽⁶⁾。しかし、(20) は (19) と同じ構文であり、finir が直接

(6) Franckel の P は、本稿の E に相当する。

補語 **de travailler** をしたがえていると分析できる。**E** は、**C1** においてうまれた「自分がはたらき終えている」という結果状態である。**Franckel** は、(21) の **cesser** もアスペクト・マーカールととらえ、**C** を「彼に会う」という行為が時間的に不在 (**absence de toute localisation temporelle de P**) である期間としている。しかし、これは **cesser** が直接補語 **de le voir** をしたがえる構文と分析できる。**E** は **C1** でうまれた「自分が彼に会うのをやめている」という結果状態である。(22) は **arrêter** が直接補語 **de fumer** をしたがえる構文で、**E** は **C1** でうまれた「自分が喫煙をやめている」という結果状態である。

どの場合も、**E** のもとになった出来事の実現そのものは発話者の関心事ではないと考えられる。発話者の視野に入っているのは **C1** でうまれた結果状態 **E** で、それは **C1** から持続してきて **To** においても見られる。すなわち、発話者がとらえる「**E** の **C** に対する時間的關係」は、図 3 のように示すことができる (**x** は出来事の実現を示すが、発話者の視野に入っていないので括弧にされる)。図 3 は、實質的に図 1 と同じである。



図 3

(19)-(22) の発話者は、結果状態 **E** の持続が **C** にわたることを **depuis** で表している。すなわち、(9) の仮説が妥当することになる。

2.2.2. 完結的活動タイプ

完結的活動タイプの事態は、(23)-(29) の **E** のような、事行主体の属性や事行の様態などの推移・変動であり、発話者は始めから終わりまでの全過程が **To** までに完結 (完全に実現, 完了) していることを問題にする。その点で、展開そのものを問題にする安定的活動タイプとことなる。完結的活動タイプの事態は **To** までに実現 (完了) しているので、当然、**PC** で表す。

- (23) La ville a changé depuis deux ans. (古石 1984, 10)
- (24) Le niveau scolaire de Mateo a chuté considérablement depuis le divorce de ses parents. (Foenkinos 2019, 16 PQP)
- (25) Je l'ai rencontré trois fois depuis le début de cette année. (Franckel, 1989, 193 PQP)
- (26) Ils ont beaucoup gagné en sympathie depuis le mois dernier.
- (27) Sa santé a bien baissé depuis le mois de janvier. (フランス前置詞活用辞典, 200)
- (28) Ce mouvement s'est progressivement transformé en parti politique depuis l'arrivée au pouvoir des socialistes.
- (29) Deux mois se sont écoulés depuis la signature du contrat.

完結的活動タイプの事態は、たとえば次のような見かたをすれば、C1 から To までのすべての時点に位置づけられるわけではなく、したがって、C にわたるのではないことになる。

- ・(23)-(29)の「町が変わる」、「マテオの学業成績が著しく低下する」、「自分が彼に3回会うにいたる」などのEは、客観的にはC1より後に始まってToより前に実現した可能性がある。
- ・(29)を除けば、完結までのEの展開はさまざまな局面を含む可能性があり、そのありかたは一定しているとはかぎらない。

このような見かたをすれば、EとCの時間的關係はたとえば図4に示すようなものになるだろう(>は局面を、xはEの実現の時点を示す)。



図4

しかし、発話者のとらえかたはこれとはことなると考えられる。(23)を示す古石も、推移・変動の過程がC1より後に始まってToより前に終わることもあるが「移行過程の位置は定かではなく、というより寧ろ、その位置に対す

る興味は捨象され、話者の視野に入っているのは t_1 における状態 (E1) と R における状態 (E2) 間の相違である」と述べている (p.10)⁽⁷⁾。実際、発話者の意識にのぼっているのは E の C1 におけるありかたと To におけるありかたのあいだの差異である。発話者は、推移・変動が C1 に始まって To において完全な実現 (完了) にいたるととらえているのである。また、客観的には E の実現までの過程にさまざまな局面を認めうとしても、そのことに発話者は無関心である。発話者は、C1 と To のあいだのどの時点においても E は「実現過程にある」というありかたで一定しているととらえている。すなわち、完結的活動タイプの事態の場合も、発話者は C に対する E の時間的關係を図 1 のように思い描くのである。そして、E が C にわたることを (E depuis C) で表しているわけである。(9) の仮説が妥当することになる。

3. 事態 E と状況 C の時間的關係：否定文

こんどは、否定文の (E depuis C) について考えよう。ただし、*Sa santé n'a pas baissé depuis un mois mais depuis bien plus longtemps.* のような C の表現を訂正する否定文は考察対象からのぞく。否定文では通説どおり事態が持続的になるとすればそれだけ (9) の仮説が妥当しやすくなるが、実際にどうであるか発話例に即して確かめよう。問題になる事態のタイプは、否定の対象となった事態のタイプであり、2.1. と 2.2. で見た 5 つが基本である。さらに、3.2. で見るように、非持続タイプの事態も加わる。

3.1. 持続的な 5 タイプの事態

ここでは、2 と同じように、状態タイプ、安定的活動タイプ、反復タイプのグループと結果状態タイプ、完結的活動タイプのグループに分けて検討しよう。

(7) 古石の t_1 , R は、それぞれ本稿の C1, To に相当する。

3.1.1. 状態タイプ, 安定的活動タイプ, 反復タイプ

まず, 状態タイプの事態が否定の対象となっている (30)-(32) を見よう⁽⁸⁾。

(30) Je n'ai plus de mère et pratiquement plus de père depuis des lustres. (Djian, 26)

(31) Personne n'habite cet endroit depuis le séisme.

(32) Je n'ai pas eu le temps de parler depuis quelques jours. (Ib, 148)

Franckel は否定文について ISCP (事態構築の主観的次元) で予期されていた事態の「C における不在」を見ているが, 筆者にとって, 否定文の E は, 否定の対象となった事態を e とすれば $\sim e$ である。たとえば, (30) の E は, 「自分に親がある」という状態 e のない, 「自分にもはや親がない」という To において持続中の状態 $\sim e$ である。(31) の E も同じように状態 $\sim e$ である。PC の (32) の発話者は, 「自分に話す時間がない」という状態 $\sim e$ を To までのこととして PC で表している。このような E ($\sim e$) が C にわたることは図 5 のように示すことができるが, これは図 1 にほかならない。



図 5

(33), (34) で否定の対象となっている事態は, 安定的活動タイプの事態である。

(33) Je n'attends plus mes amis depuis tout à l'heure.

(34) Le gamin n'a pas bougé depuis quelques minutes.

(33) の E は「自分が友だちをもう待っていない」という状態 $\sim e$ で, To において持続中である。(34) の E は「少年が動かないでいる」という状態 $\sim e$ であり, 発話者は To までのこととして PC で表している。

(8) 否定辞 plus を含む (30) のような発話については, 4.1. であらためて触れる。

反復タイプの事態は、2.1. で述べたように、発話者が大きなひとつの事態ととらえるものである。(35), (36) で否定の対象となっているのは、そのような事態である。

(35) Je suis habitué aux piques de mon père, elles ne me touchent plus depuis des années. (Foenkinos 2014, 172, IMP)

(36) Je n'ai pas acheté *Le Monde* depuis trois mois. (L'Huillier 1999, 6)

(35) の E は、「父の皮肉が何度も自分を傷つける」という大きなひとつの事態 e の実現がない、「父の皮肉がもはや自分を傷つけることがない」という状態~e である。(36) の E は、「*Le Monde* を (毎日) 買うことがない」という状態~e で、To までのこととして PC で表している。

(30)-(36) の発話者は、E (~e) が C にわたることを〈E depuis C〉で表している。すなわち、(9) の仮説が妥当することになる。

3.1.2. 結果状態タイプ、完結的活動タイプ

こんどは、PC のみで表す 2 つの事態のタイプについて否定文の〈E depuis C〉を検討しよう。(37), (38) では、結果状態タイプの事態が否定の対象となっている。E はある事態が実現 (完了) しなかったために C1 において結果状態 e がうまれていない状態~e である。当然、発話者は PC で表す。

(37) Je suis affamé: je n'ai pas mangé depuis deux jours. (Franckel 1989, 199)

(38) Le chat n'est pas réapparu depuis le déménagement.

(37) を示す Franckel は、ISCP で予期されていた「自分が食べる」という事態の「C における不在」を見ている。筆者にとって、E は、いま空腹であることの説明になる、「自分が食べていない」という状態~e である⁽⁹⁾。(38) の E も、「猫が姿を現していない」という状態~e である。どちらの場合

(9) 文脈によっては、否定の対象 e が「(毎日の) 食事をする」という反復タイプの事態であることもありうる。

合も、状態～e は To において持続中である。

完結的活動タイプの事態は、2.2. で述べたように、E の全過程が To までに実現（完了）にいたっていると発話者がとらえるものである。(39)-(41) の E は、そのような事態 e が実現にいたることがなかった状態～e である。当然、発話者は PC で表す。

(39) Elle n'a pas changé depuis le premier jour.

(40) Les prix du café n'ont pas augmenté depuis l'année dernière.

(41) Les murs n'ont pas été repeints depuis longtemps. (Wiazemsky, 7)

(39) の E は、事態 e の実現がなかった状態～e、すなわち「彼女が変わっていない」という状態～e である。(40)、(41) の E も e の実現がなかった状態～e である。どの場合も、状態～e は To において持続中である。

(37)-(41) の発話者は、E (～e) が C にわたることを〈E depuis C〉で表している。(9) の仮説は妥当である。

3.2. 非持続タイプの事態

2 で肯定文の〈E depuis C〉を検討した際に、全過程が短時間で実現（完了）する非持続タイプの事態は認められなかった。なぜなら、事態の 1 回の実現を PR または PC で表す (42) のような〈E depuis C〉が原則として容認されないからである。

(42) (E の実現が 1 回だけの場合)

*On [frappe/a frappé] à la porte depuis un quart d'heure.

しかし、「人がドアをノックすることが（もはや）ない」という状態が C にわたってあることを表す否定文であれば、(42') のように問題なく容認される。

(42') On [ne frappe plus/n'a pas frappé] à la porte depuis un quart d'heure.

否定文の場合、非持続タイプの事態も見られるわけである。E は、事態 e

がない状態～e で、To までのこととして PC で表す (43)-(46) のような発話も珍しくない。

(43) Je n'ai pas aperçu sa voiture depuis trois ou quatre jours.

(44) Pas un mot n'a encore été prononcé depuis que j'ai franchi la porte. (Djian, 108)

(45) Elle (= ma mère) n'a pas employé cette expressioin, «mon fils», depuis novembre 1989. (Foenkinos 2014, 144 PQP)

(46) Je n'ai pas bu de chocolat chaud depuis si longtemps. (Ib, 117)

(42'), (43)-(46) で否定の対象になっている事態 e は、どれも短時間で実現するものである。E は、e の実現がない、「人がドアをロックすることが(もはや)ない」、「自分が彼の車を見かけることがない」、「まだひとことも発されていない」などの状態～e である。

発話者は、E (～e) が C にわたることを〈E depuis C〉で表している。

(9) の仮説は妥当する。

4. 関連する問題

depuis のはたらきの解明をさらに進めるためには、これまで論じてきたこと以外になお考えるべき問題がいくつかある。重要と思われる 3 つを以下に略述しておこう。

4.1. C1 以前との対比

発話者が〈E depuis C〉によって E が C の期間にわたることを表すと、C1 以前は E ではなかったと相手は受け取る。〈E depuis C〉は、C1 以前は～E であったことを含意するのである。このこととのかかわりで、古石(1986)は PR の「ne...pas 否定文」と「ne...plus 否定文」のあいだの使い分けを論じているが、この含意を強めるのは否定文の plus にかぎらず、C1 以前との対比を表すすべての語句だと考えられる。たとえば上で見た肯定文の

(11), (14), (18) はそれぞれ *mieux*, *plus*, *moins* を含んでいるが、それらは含まない (11'), (14'), (18') と意味がことなるだけでなく、適合する場面・文脈がことなるはずである。

(11') *L'enfant se conduit bien depuis le retour de son frère.*

(14') *Je le vois souvent depuis que sa femme est partie.*

(18') *Paul l'a vue régulièrement depuis le semestre dernier.*

一方、この種の含意は、*To* 以後についてはなさそうである⁽¹⁰⁾。この点で、*C* の始点以前も最終時点以後も $\sim E$ であることを含意する (47 a, b) のような $\langle E \text{ pendant } C \rangle$ とはことなる。

(47) a. *Il travaille ici pendant le week-end.*

b. *Elle a été chanteuse d'opéra pendant cette période.*

C1 以前との対比を表すことが発話者のどのような意図に対応するか、対比の有無によって発話が適合する場面・文脈がどのように変わるかを探ることは、*depuis* のはたらきの解明に貢献すると考えられる。

4.2. 観念的關係を表そうとする場合

1 で見たように、発話者は *C* を示すために事態 E_{C1} または事態 E_{C1-To} を表すことがある。その場合、主節の事態 *E* と E_{C1} または E_{C1-To} を観念的關係（論理的關係、因果關係）において提示することがある⁽¹¹⁾。たとえば、(48)-(50) では *E* と E_{C1} のあいだの、(51)-(53) では *E* と E_{C1-To} のあいだの観念的關係を表そうとしている。

(48) *Comment vas-tu ? – Mal. Très mal. Je meurs depuis ton départ.*

-
- (10) 2.1. で見た、状態タイプ、安定的活動タイプ、反復タイプの事態の *To* までの持続・展開を *PC* で表す場合も、*To* 以後は $\sim E$ とはかぎらない。
- (11) 発話者に観念的關係を表す意図がないこともある (ex. *Neuf mois se sont écoulés depuis que le coronavirus a mis le monde à l'arrêt.* (Arte, 2020.11.10) ; *Il a toujours aimé bien manger depuis qu'il est enfant.*)。また、観念的關係を表す意図の有無がはっきりしないこともある (ex. *Elles les ont vus deux fois depuis leur succès au concours.*)。

(Foenkinos 2019, 88)

- (49) Elle est en forme depuis qu'elle a commencé à faire du yoga.
 (50) Alain va mieux depuis qu'il s'est arrêté de fumer. (フランス語法辞典, 95)
 (51) Les chantiers sont moins nombreux depuis la crise économique.
 (52) Elle ne travaille plus depuis qu'elle a deux enfants.
 (53) Le théâtre ne s'est plus rempli depuis l'imposition des couvre-feux.

(48) の発話者は、「自分が絶不調である」という状態 **E** を「あなたがいなくなる」(**C1** において実現した **E_{C1}**) の帰結として表している。(49), (50) の発話者も **E** と **E_{C1}** のあいだの同様の関係を表そうとしている。(51) の発話者は、「工事現場がより少ない」という状態 **E** を「経済危機」(**C** にわたる事態 **E_{C1-T0}**) の帰結として表している。(52), (53) の発話者も **E** と **E_{C1-T0}** のあいだの同様の関係を表そうとしている。

発話者が観念的關係を表すのは時間的關係に立脚してのことである可能性がある⁽¹²⁾。そうだとすれば、**E** を **E_{C1}** または **E_{C1-T0}** の帰結として表すときは、**E_{C1}** の時点であり **E_{C1-T0}** の始点である **C1** を **E** に先行するととらえているはずである。(9) の仮説にいう「**E** が **C** にわたる」という時間的關係が「**E** が **C** の帰結」という観念的關係にどのように結びつくか、そのしくみを明らかにする必要がある。

4.3. depuis C を前置する 〈depuis C, E〉

これまで見てきたのは 〈E depuis C〉であるが、depuis C を E に前置する (54)-(57) のような 〈depuis C, E〉もごく普通に見られる。

- (54) Depuis deux ans, elle vit auprès d'un homme dont elle n'est pas vraiment amoureuse. (Wiazemsky 41, IMP)

(12) (47), (48), (50) などの場合のように、**C** の時間的位置を相手を知ることを重視しない場合もありそうだ。

- (55) Depuis tant d'années, il n'y a jamais rien eu entre nous. (Sar-raute, 23)
- (56) Depuis que mon père est mort, je lui demande d'intervenir dans ma vie. (Reza, 21)
- (57) Depuis que les clients sont poursuivis, la prostitution est devenue beaucoup plus dangereuse. (Toranian, 22, PQP)

これらの場合も、発話者は状況 C の期間に To の事態 E がわたることを表していると考えられる。たとえば、(54) の発話者は、「この 2 年間」という C に「彼女が本当には愛していない男のそばで暮らしている」という E がわたることを表している。(55)-(57) についても同じようなことが言える。E の事態のタイプは、(54)、(55) では状態タイプ、(56) では反復タイプ、(57) では結果状態タイプであり、すべて持続的な事態である。E と C のあいだの時間的關係は図 1 のように示すことができそうである。

ところで、Franckel は (58) を示して、あまり自然ではないと述べている。

- (58)? Depuis quelques jours, Luc s'est mis au travail. (Franckel 1989, 195)

(58) があまり自然ではないとすれば、「リュックが仕事を始める」という E が 3.2. で見た短時間に実現する非持続タイプの事態であって C の期間 C1-to にわたるものではないからだという説明が考えられる。しかし、Franckel は、E が主観的評価を含む場合は自然であるとして (59 a, b) を示している。

- (59) a. Depuis quelques jours, Luc s'est mis au travail pour de bon.
b. Depuis quelques jours, Luc s'est enfin mis au travail.

筆者の調査からも、E が非持続タイプの事態と見なせる (60)、(61) のような発話がときに見られることが分かっている。

- (60) Depuis que cette chanson est sortie, on a arrêté la tournée. (France 2, 2021.01.23)
- (61) Depuis que les choses, au bout du compte, se sont arrangées entre

elle et Paul, elle s'est éclose, comme une fleur – tendance vénéneuse. (Djian, 187)

(60) の発話者はテレビに出演中の歌手で、新曲が発売されたあとのツアーの予定を司会者に聞かれて答えている。まず、C を示すために C1 において実現した「この歌が発売される」という事態 E_{c1} を表し、「ツアーが中止される」という E を言っている。この E が非持続タイプの事態だとすれば C にわたるものではないことになる。(61) の「彼女が開花する」という E についても同じことが言える。しかし、発話者は E がなんらかの意味で C にわたるととらえている可能性もある。Franckel が示す (59 a, b) についても同じような説明が考えられる。多くの発話例に即してその点を明らかにしなければならない。

〈depuis C, E〉の場合、発話者は、まず depuis C によって話の枠組を設けてからそこに何があるかを E で表すことになるので、談話の展開という観点も重要であろう。Franckel の記述を参考にするなどして、発話者がどのような意図で 〈depuis C, E〉の発話を構成するかを明らかにする必要がある。

5. おわりに

2 では、〈E depuis C〉の E に認められる 5 つの事態のタイプについて、E の C に対する時間的關係を検討し、(9) のような仮説を提案した。

(9) depuis のはたらきに関する仮説

発話者は、現在の事態 E が状況 C の期間にわたることを 〈E depuis C〉で表す。

3 では否定文の 〈E depuis C〉について、E の C に対する時間的關係を検討した。否定文の E は、否定の対象となった事態 e のない状態 $\sim e$ である。e の事態のタイプとしては、2 で検討した 5 つのほかに非持続タイプも認められた。それら 6 タイプの事態の発話例の検討をとおして、否定文にも (9) の仮説が妥当することが確かめられた。

4 では、C1 以前との対比、観念的關係を表そうとする場合、depuis C を前置する〈depuis C, E〉の3点をめぐる問題について考えることが depuis のはたらきを解明するために必要であることを見た。これらが今後まず取り組むべき課題である。

発話例の出典

Djian = Philippe Djian (2014) *Chéri-Chéri*.

Foenkinos 2014 = David Foenkinos (2014) *La tête de l'emploi*.

Foenkinos 2019 = David Foenkinos (2019) *Deux sœurs*.

Gavalda = Anna Gavalda (2002) *Je l'aimais*.

Reza = Yasmina Reza (2013) *Heureux les heureux*.

Sarraute = Nathalie Sarraute (1982) *Pour un oui ou pour un non*.

Toranian = Valérie Toranian (2018) *Une fille bien*.

Wiazemsky = Anne Wiazemsky (1991) *Marimé*.

主要参考文献

Franckel, Jean-Jacques (1989) Depuis, *Etude de quelques marqueurs aspectuels du français*, Droz, 89-205.

L'Huillier, Monique. (1999) "Les temps après depuis (que), il y a... que, cela fait... que : voilà... que : problèmes pour l'apprenant", *L'Information grammaticale* 80, 3-7.

古石篤子 (1984) 「DEPUIS “déictique” の分析」『フランス語学研究』18, 1-19.

———. (1986) 「“Depuis” を含む現在形否定文の問題 - 『DEPUIS “déictique” の分析』追記 -」, 『フランス語学研究』20, 44-52.

阪上るり子 (2003) 「depuis que と maintenant que について」『金沢大学文学部論集 言語・文学篇』23, 155-173.

曾我祐典 (2005) 「時間關係辞 depuis の機能」『年報・フランス研究』39, 関西学院大学文学部フランス学会, 89-101.

———. (2012) 「depuis が導く時況節の動詞時称」『フランス語学の最前線 1』, ひつじ書房, 141-162.